科目ナンバリング	G-LAS10 80026 LJ46　G-LAS10 80025 LJ18						
授業科目名 <英訳>	認知デザイン特論 Advanced Studies: Cognition and Design Studies			担当者所属 職名・氏名	教育学研究科 准教授　田口　真奈 教育学研究科 教授　楠見　孝 教育学研究科 教授　Emmanuel MANALO 教育学研究科 教授　齊藤　智 教育学研究科 准教授　野村　理朗 国際高等教育院 准教授　高橋　雄介		
群	大学院横断教育科目群	分野(分類)	人文社会科学系			使用言語	日本語
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	木1	配当学年	大学院生	対象学生	全学向

（教育学研究科の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

デザインという人間の営みを、脳・心・行動の３つの水準で捉える認知心理学や認知科学の理論から、総合的に考察することがこの授業の目的である。まず、脳・心・行動そのものがそれぞれどのようにデザインされているのかを知ることが重要である。次に、脳・心・行動のもつ制約と、その制約を逆手に取った豊かな認知的活動との関連を考察する。さらに、豊かなデザインを生み出す能力を高めるために、脳・心・行動を発達させ、活性化させるためのさまざまな環境要因について考察する。最後に、行動のどのようなはたらきがどのような豊かなデザインを生み出しうるのかについての関連性を、文芸、教育などの事例を取り上げて考察する。

[到達目標]

認知心理学や認知科学の理論を基盤として，脳・心・行動そのものがどうデザインされているのかを知り，それらと認知活動との関連，および豊かなデザインを生み出す能力を高めるための環境要因について考察できるようになる。

[授業計画と内容]

第1回 (齊藤) イントロダクション:認知機能の制約とデザイン
第2回 (齊藤) 記憶の制約と認知トレーニングのデザイン
第3回 (高橋) パーソナリティ発達のデザイン
第4回 (高橋) 遺伝と環境の影響による個人差のデザイン1
第5回 (高橋) 遺伝と環境の影響による個人差のデザイン2
第6回 (野村) 脳のデザイン
第7回 (野村) 文化と遺伝子のデザイン
第8回 (野村) 感情と心身のデザイン
第9回 (田口) 教えることのデザイン
第10回 (田口) 学習環境のデザイン
第11回 (マナロ) Designing of Visual Information (in English)
第12回 (マナロ) Designing Failure for Success (in English)
第13回 (楠見) 言語芸術のデザイン
第14回 (楠見) メディア環境のデザイン
第15回 フィードバック

* フィードバック方法は別途連絡する。
* 授業の順序は変更することがある。その場合は、事前に通知をする。

認知デザイン特論(2)へ続く↓↓↓

認知デザイン特論(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

毎回の授業ごとに講義に関連した課題を課す。各課題を担当教員が採点し、それらを集計して成績とする。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
子安増生・楠見孝・齊藤智・野村理朗 『教育認知心理学の展望』（ナカニシヤ出版）ISBN: 9784779510496
その他は授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業中に紹介された参考図書・論文、配布資料等を用いて、復習する。

[その他（オフィスアワー等）]

授業責任者連絡先 E-mailアドレス taguchi.mana.3z@kyoto-u.ac.jp

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。